

みんなの意見で公園などをつくることができるって知ってた？
どんなふうにしてつくられるのか、見てみよう！

みんなでつくろう！みんなのまち

名前もみんなで決めました ～鷺沼ふれあい広場～

2006年(平成18年)4月、鷺沼プールが、土橋小学校、鷺沼ふれあい広場、フットサル施設「フロントタウンさぎぬま」、さぎぬまこみ保育園に新しく生まれ変わり、名前も「カッパーク鷺沼」となりました。

その1つ、鷺沼ふれあい広場は、市民のみなさんと川崎市が一緒につくった広場です。

利用する人みんなに親しまれるような広場にしようと、約1年半にわたって、市民のみなさんと川崎市が一緒になって考えました。「鷺沼ふれあい広場」という名前も、市民のみなさんから募集して、その中から決められた名前です。



みんなの意見を模型にして公園づくりに反映させました！



●どんなふう決めていくのかな？

まず最初に、広場づくりに関心を持った市民のみなさんが集まって「広場整備検討委員会」を結成し、広場づくりが始まりました。

広場を4つのゾーンに分け、グループごとに現地を調査したり、アイデアを出し合って、広場づくりの基本的な考え方(基本構想案)をつくりました。

次に、ワークショップという意見交換の場を作って、委員会のメンバーではない人たちの意見も聞きながら、さらに内容を修正したり、みんなで話し合ったりして、最終的な考え方を約1年半かけてまとめました。

そして、川崎市は、こうした市民のみなさんの意見を取り入れて、鷺沼ふれあい広場をつくりました。



カッパーク寛治の「カッチちゃん」

また、広場の整備だけではなく、広場開園後の使い方や運営・管理方法などについても、市民のみならずが気持ち良く使えるようにと、みんなで意見を出し合って、ルールを決めました。

こうやって、みんなが意見を出し合って、つくられるものもあるんだよ！

みんなも、例えば、自分の身近なテーマで話し合ってみましょう。

花壇づくりから始めよう！一人一人が主役のまちづくり ～宮前ガーデニング倶楽部～

「花いっぱいのできれいなまちにしたい。市民と市民とのつながりを広げてみんなが暮らしやすいまちにしたい。」

宮前区で区づくりプランが定められたことをきっかけにして、この思いを強くした3人の区民が、願いを実現するために、自分でできることから始めよう、と活動を始めました。

まず始めたのは、宮前平駅から宮前区役所に向かう長い坂の途中にあるポケットパークに花を植える花壇づくりです。

花壇づくりをしていると、学校帰りの小学生から「何をしているの?」と聞かれたり、通りがかりの人から「きれいになりましたね。ありがとう。」と声をかけられたり、自然と会話が生まれました。だんだんと



ポケットパークでの花壇づくり

会話が増えてくると、まちへの思いや活動に共感して、必要な道具を貸してくれるなどの協力をしてくれる人や、仲間に入る人もどんどん増え、活動の輪が広がっていきました。

今ではたくさんの仲間が、一人一人、知恵を出し合い、話し合っ、お店や農家など様々な人たちの協力を受けながら、区内6ヶ所の花壇の管理や、小学校の総合学習として青空授業なども行っています。

みなさんも、活動を見かけたら声をかけてくださいね。



青空教室でのフラワーアレンジメント

トピックス5

自分たちのまちは自分たちで守ろう！

～市民活動団体「野川はあも」の取り組み～

宮前市民館の市民自主学級として「野川・南野川ふれあいの森」を中心に緑に関する活動を行っています。

「森を守りたい」との思いを持った近隣の区民が、自分たちでやれることは自分たちでやろうと、結成しました。

自然に生えているキノコを探したり、落ちている枝などを使って歩道と雑木林を分ける柵を作ったりなど、身近にある自然の面白さを再発見するプログラムを次々と行っています。



まちづくり事例だよ！